



# 第43回 釜ヶ崎 越冬闘争

2012.12.28-2013.1.7

今こそ、安心して暮らし働ける釜ヶ崎を

## 「釜ヶ崎越冬闘争」

万博景気が終わりを迎え、物価は上昇、年末の仕事も減少し、日雇労働者の生は逼迫していた。1970年末に、有志たちが「釜ヶ崎越冬対策実行委員会」を結成。労働者の衣食住にかかわる問題に取り組んだことが始まりである。第1回釜ヶ崎越冬闘争は、花園公園を拠点に開始された。

1975年、越冬拠点公園テント村の、大阪市・警察・機動隊による取り壊し(行政代執行)。1978年には、地区内三公園の全面封鎖が行われる。その後も行政や警察、暴力団による越冬闘争への弾圧を受け、多くの犠牲に耐えながら、この間、途切れることなく闘い続けている。

## 第 43 回釜ヶ崎越冬闘争スローガン

野宿の仲間への襲撃を許さない！

富松国春さん虐殺弾劾！

### ①反失業闘争を闘うぞ！ 働いてメシをくわせろ！

- ・特掃を週 3 回にしろ！
- ・55 才以下の仲間にも社会的（公的）就労のしくみをつくり週 3 回働けるようにしろ！
- ・復興事業に釜ヶ崎の労働者を使え！

### ②橋下改革による釜ヶ崎解体を許すな！

- ・釜ヶ崎労働者の声を聞け！
- ・医療センター縮小反対！

### ③生活保護法改悪反対！

- ・しめつけを許さんぞ！

### ④反原発闘争を闘うぞ！

- ・全ての原子炉を直ちに廃炉に！
- ・再稼働、新・増設をやめろ！
- ・労働者を被曝させるな！
- ・責任逃れとピンハネの重層的下請け構造と闘うぞ！

### ⑤日米安保反対！日米地位協定破棄・オアプレイの飛行訓練反対！

### ⑥沖縄民衆と連帯して闘うぞ！

- ・普天間基地を直ちに返還しろ！オアプレイ配備反対！
- ・辺野古新基地建設反対！

### ⑦憲法 9 条を守れ！

### ⑧消費税増税反対！

### ⑨ T P P に反対するぞ！

老いも若きも、安心して働き、生活できる釜ヶ崎をつくらう！

# 第 43 回釜ヶ崎越冬闘争基調報告

## ＜釜ヶ崎をめぐる現状＞

今年の釜ヶ崎は、昨年秋の橋下市長・松井知事による「大阪グレートリセット」「西成特区」構想に翻弄され右往左往した一年であった。

すさまじい勢いですすめられた「公務員パッシング」-労働運動破壊、マスコミを使った生活保護「不正受給」キャンペーン、この間進められてきた人権・平和教育をすすめるこどもの里-「子どもの家事業」への補助金の廃止が発表され、3月末での国の「緊急雇用対策基金」の期限切れ打ち切り-特掃の「月八」の廃止、更にはセンター移転のマスコミ報道によって、仲間たちの間では「特掃・シェルターが無くなるらしい」「南港臨泊が無くなるらしい」「生活保護が打ち切られるらしい」といった動揺が広がった。

現場の役人も、ある日突然、市長が公表し、具体案の決定を押し付けられることによって、住民への説明もできず、右往左往している状態だ。

最近になってやっと「有識者座談会」の答申が発表されたがその内容については、具体性にとぼしく担当者ですら「どこでどう決まり、どう具体的に進めるのか」が明らかにされず、その実現に？を示すものばかりか、釜ヶ崎の問題の根本である失業問題-雇用対策についてはほとんどふれられていない。

「東京を変えることが日本を変える」と都知事になった石原前東京都知事の二番煎じで「西成を変えることが大阪を変える」「大阪を変えることが日本を変える」といって、歴代の大阪市長が触れようとしなかった釜ヶ崎の問題に目を向けたような姿勢を見せた橋下市長ではあったが、「既得権益にあぐらをかく公務員はタタキますが、この間施策から抜け落ちてきた西成をひいきします」という発言は「公務員パッシング」の口実、選挙目当てであったとしか考えられない。

本当に釜ヶ崎のことを考えているなら「有識者」や商店街ドヤ主だけの意見だけではなく労働者の意見・現場の意見もきくべきだ。それが弱いので「観光ガイド」「登下校の見守り」など現地の雇用には不向きな事業内容が「新たな雇用」として出てくる。そして医療センターの縮小、こどもの里・山王こどもセンターへの補助金打ち切りなど、釜ヶ崎の医療にとって最も重要なものまで縮小し、いじめや家庭内暴力からの避難所として、時代の最先端を先行的に担ってきたところが打ち捨てられてしまっている。進められた数少ない「改革」も「病院指定制度」「薬局指定制度」の導入のように、過重診療、過重投薬の根源である医療機関を問題にするのではなく、医療保護受給者の問題であるかのように、弱者の『受診する権利』を奪う形で進められている。又、越年対策の打ち切りすら見え隠れしている。

では、どういう方向で闘うのか。

## ＜釜ヶ崎のかかえている問題の根本は失業問題である＞

建築・土木の技術の発達・機械化、長期にわたる不況と、全社会的な派遣労働の広がり、のなかで、釜ヶ崎労働者は高齢化によって失業-野宿を余儀なくされているなかまが多い。また近年では不況の深まりの中、(新たに釜ヶ崎に仕事を求めて来る)若い層にも失業-野宿の強制は進んでいる。

今は、生活保護への包摂でその矛盾を隠ぺいしているが、こんなことはいつまでも続けられるわけがない。国は生活保護「不正受給キャンペーン」をテコに生活保護法の改悪を見据え締めつけを強めている。

生活保護費(プラス医療費)をつぎ込み、働ける労働者から「働く意欲」を奪い、医療機関や製薬会社だけを儲けさせ、年間\*\*\*\*円も使うなら、特掃のように高齢者には高齢者にあった社会的(公的)就労のしくみを、また若い層には若い層にあった社会的(公的)就労のしくみを作り出し、また社会的企業を育成し、公共事業でゼネコンだけがもうかる構造を変えるだけで、釜ヶ崎の失業問題は解決できる。



あとは高齢化の問題と、社会から様々な理由で排除され釜ヶ崎にたどり着いた仲間たちの問題だ。釜ヶ崎の労働者は、歴史的に年金制度から排除されてきた。またかろうじて年金のある仲間（阪神大震災後に釜ヶ崎に来た仲間、最近定年・失業によって釜ヶ崎に来た仲間が多い）もほとんどが低年金で、それだけでは生きていくことができない。

「だれでも安心して老後をくらせる年金制度」を求めていくと同時に、単に生活保護に包摂するだけではなく、社会と切離し孤立させるのではなく、生きがいを持てるようなケアサービスを充実させていかなければならない。

様々な理由で社会から排除され、釜ヶ崎で生活せざるをえない仲間たちの問題は、まず第一には、それぞれの地域で生活できるため、それぞれの地域でのしくみづくりを求めていくとともに、釜ヶ崎で働けるしくみをつくりだしていかなければならない。

「古いも若きも安心して働き生活できる釜ヶ崎」を実現しよう。

### <生活保護のしめつけを許さない>

「仕事づくり」の闘いの不十分さから（闘争だけではなく行政に対する具体的提案も含めて）本来は生活保護ではなく「働いて生活」を望んでいる多くの仲間たちが生活保護に移行せざるをえなくなっている。釜ヶ崎では9,500人の仲間が生活保護に移行し、実に全釜ヶ崎労働者の1/2近くなっている。

「自己責任論」と「不正受給キャンペーン」をテコとして生活保護法の改悪も、もくろまれている。

一方では「ベイシックインカム」「中間的就労」の論議がはじまっており、また「税と社会保障の一体改革」が叫ばれているが、実際に先行しているのは「締めつけ」と「増税」である。

事実、医者でもないケースワーカーが、医者に「就労不可」という診断をもらった仲間に「リハビリのため数時間でも働きなさい」と、ムチャな「指導」をしたり、様々な理由をこじつけて「辞退」を強制される仲間が増えている。また「病院指定制度」「薬局指定制度」の導入によって治療の幅をせばめ、病気の悪化をも結果している。

この制度が導入された口実は「過重診断」「過重投薬」だが、これは労働者の責任ではない。病院や製薬会社の利益のために行われたことであり、その責任は、これらと、これを許した行政にこそある。

### <ホームレスの仲間への襲撃・虐殺を許さない>

10月13日～14日未明にかけJR大阪駅周辺で40～80代のホームレスの男性5人が相次いで襲われ、富松国春さん（67）が殺された。5人の少年（16～17才）は中学の同級生であり、府立校に通う一人を除けば無職、飲食店のアルバイト、鉄筋工だ。押収された携帯電話には暴行した動画が記録されていたといい、「ホームレスをしばきに梅田にいこう」と誰かが言い出し、「殴ったらスカッとした。楽しくて何も考えていなかった」と供述しているという。

「野宿者ネットワーク」の仲間の調査では、この間、大阪駅周辺だけではなく、野宿している仲間へのイヤガラセ・襲撃が増えており、中には「油をかけられ火をつけられた」と、一步間違えれば死と直接結びつくようなことまで行われている。こうした事件は過去たびたびくり返されてきた。大阪だけでも1995年10月18日 藤本彰男さん（63才）が戎橋で、2000年7月22日には天王寺で小林俊春さん（67才）が殺されている。

いずれの事件も「犯人」は、在特会のようにあからさまに差別と排外主義をあおる「確信犯」ではなく、どちらかといえば我々と同じような存在であり、差別・排除されてきた人間がその怒りを自分より「弱い」者に向け、ついには死にいたらしめたということであり、「いじめ」問題と同じような問題をはらんでいる。

そしてこういう事件は、社会がこわれ始めていることを明らかにするとともに、排外主義の台頭とも無縁ではない。この間の「尖閣諸島」をめぐる排外主義、愛国主義の大合唱と、「自己責任論」「不正受給キャンペーン」に、その原因があるといえる。

### <どう闘うのか>

今日本では、この間の選挙をめぐる各党の論争を見ても明らかなように、排外主義、愛国主義の大合唱だ。「尖閣諸島」をめぐる中国での「反日運動」の高揚に対して、共産党も含めてすべての党が「日本固有の領土」と主張し「政府のき然たる態度」を要求した。

その中身は「自衛隊によって中国漁船を追い払え」「部隊を常駐させろ」といったものから「平和的な解決を…」との差はあるものの、その意味では大差はない。より「愛国の党」をきそっているだけだ。

「大日本帝国憲法」、「自主憲法制定」、「集団的自衛権の行使」のほか、「創憲」「加憲」と言葉の違いはありつつも「改憲勢力」であり国会の大多数をしめている。

原発問題も然りである。

「脱原発は空論」という自民党は論外としても、多くの国民の声を無視できず「脱原発」を主張する党も、それは表面でしかない。「脱原発」とは「再稼働」や「新・増設」を認めないことであり、「廃炉」を決定し、具体的に行うこと以外にない。

更にアメリカに追随し、日本の労働者・市民を踏みにじる、TPPへの参加、沖縄への更なる基地の押し付けに反対していこう。

こうした闘いを釜ヶ崎労働者の団結した闘いとして創り出していこう。その要は反失業闘争の前進だ。そして全ての闘う仲間と連帯していこう。

確かに連合をはじめとした既存の労働運動の延長ではダメだ。橋下市長の「組合つぶし」に、オレたちから見たら「白旗をかかげ」闘わずして敗れたように見える。

しかし、闘おうとする労働者は確実にいる。

また、正規労働者の中には、自分たちの利益だけを求めるのではなく、非正規労働者の権利を求める仲間もいる。「オレたちの給料が下がっても非正規を正規にしろ！」と闘う労働者もいる。

なによりもこの間、東日本大震災、被災者支援活動や反原発闘争で出会った多くの仲間がいる。彼らは、弱肉強食の新自由主義に反対し、こわれた社会を再生し、ともに新しい社会を創り出そうとする仲間だ。

こうした仲間たちとの団結を強めよう。

### <第43回越冬闘争に勝利しよう>

目前にせまった越冬闘争を闘い抜こう。

冬将軍を迎え撃ち、「仲間内の団結で一人の餓死・凍死者も出さない闘い」をやり抜こう。釜ヶ崎労働者の団結を強め、多くの仲間たちと連帯し、「老いも若きも安心して働き生活できる釜ヶ崎」を実現していこう。

「安心して働き生活できる日本」を創り出していこう。

## 第43回釜ヶ崎越冬闘争 活動内容と日程

# 参加・協力お願いします！



### 布団敷きと警備

12/28 ~ 1/4 夜 7:00 ~ 翌朝 5:00

野宿をする人たちの大きな心配の一つに、通行人の嫌がらせや、若者らの襲撃から身を守らなければならない、ということがあります。遊び半分で道頓堀川に放り込まれて溺死させられた藤本さんや、天王寺で殺害された小林さん、2012年10月に梅田で少年達に殺された富松国春さんなど、被害は後を絶ちません。そこで年末年始の越冬期間、安心して寝られる場所の提供ということで、社会医療センターの軒下で布団を敷いて集団野営を行います。

夜7時から布団敷きを始め、翌朝5時までの夜を徹して番をします。一部のメンバーはそのまま朝5時から朝7時までのセンター情宣「日刊越冬」の配布にも参加します。正月を迎えると支援者の参加が落ち込み人員不足で厳しくなりますが、「一人の餓死者、凍死者も出さない」越冬闘争の基本となる活動であり、決して欠かすことはできません。



### 人民パトロール

12/30 ~ 1/3 夜 8:00 ~ 夜 10:00

越冬闘争に参加してくれる労働者、地域住民、市民、宗教者、学生など、様々な人たちが集まって行うパトロールです。地区内外のいたるところで野宿を強いられている仲間たちに、釜ヶ崎では越冬闘争が行われていることを呼びかけます。「炊き出し」「寝床」「医療・労働などの相談活動」「越冬まつり」などの情報とともに、カイロや食糧などの支援物資をわたしてゆく活動です。年末・年始の楽しげに着飾った街中での活動になりますが、お正月を失業し、野宿で迎えざるをえない労働者たちがいるのも事実です。越冬期間中、その日の「越冬まつり」が終了する時間に参加者を募り、大阪市内の各地へと向かいます。



### 資材管理

12月ごろ～

必要な資材を集め、越冬闘争を下支えする仕事です。毛布や布団、カンパを集め、三角公園で仲間たちが暖をとるためのたき火や、炊き出し用の薪を調達。当日はたき火の管理などを行います。12月頃から動き出します。



### 医療パトロール

12/28 ~ 1/7 夜 9:45 ~ 夜 11:30 @ 医療センター前集合

野宿をしいられている人々の安否を気遣いながら、地区内外を夜回りします。医療センター前の集団野営地と連携を取りながら、緊急の場合には医療機関につなぎ、健康状態を気遣いながら活動を行います。



## 南港臨時宿泊所 受付相談と監視行動 @大阪市立更生相談所前

年末、年始の職がなく生活が苦しい期間、大阪南港に臨時宿泊所が設置されます。この申し込み受付は地区内にある市立更生相談所にて行われます。ここで行政による不当な申し込み拒否がないように見守り、労働者の相談やアンケートを行います。



## 炊き出し 12/28 ~ 1/7 夜 6:00 配食 @ 三角公園

三角公園で炊き出しを行います。もちつき大会をはじめ、ぜんざいや雑煮などを用意していきます。  
(※炊き出しのメニューや日程は変更の場合があります)



## お礼参り 1/4 朝 7:00 ~ @ 三角公園集合

行政が仕事始めの日の朝、三角公園で参加者全員で朝食をすませた後、勝利号と名づけられた大型バスにて、大阪市・大阪府へと向かい、要求書を提出します。

## 映画

## ドキュメンタリー上映 12/29,30,1/30 (日程調整中) @ ふるさとの家

12月29日、30日、1月3日の予定で、ふるさとの家にてドキュメンタリー映画の上映会を行います。また、28日、越冬突入集会にて、三角公園でも「寅さんシリーズ」を上映します。


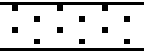
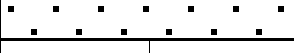
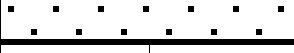



## 越冬まつり 担当：実行委員会 12/30 ~ 1/3 @ 三角公園

三角公園では、たき火を囲みながら、恒例のど自慢大会や、もちつき大会、書き初め大会、体も少しは動かそうとの卓球大会、ソフトボール大会などが開催されます。またステージでは、演歌、フォークからロック、ブルース、ラップ、そして民謡、エイサーまで、心ある音楽家たちの演奏も盛りだくさんです。そして、労働者が主人公との原点に立ち返り、釜ヶ崎の暮らし役立ち情報（労働、福祉、医療など）のアピール・告知も行っていきます。

# 第43回越冬タイムスケジュール

午前

		5:00	5:00~	6:00~	8:30~	11:00~
ふとん敷きと警備	医療センター前 前半 19:00~23:00					
	後半 23:00~5:00 am	後半		「日刊えっとう」配布		
人民パトロール	医療センター前 20:00~22:00					
医療パトロール	医療センター前 21:45~23:30					
炊き出し	三角公園 夜 18:00~					
	※1月2日もちつき大会		準備	もちつき大会。(1月2日)		
越冬突入集会	三角公園 18:00~19:00 (集会) 19:00~20:30 (上映会)					
越冬まつり	三角公園 午後 ~19:45					
資材管理・設営	23日設営 ステージ 炊事場					
						
南港臨泊・監視	市更相 8:00~12:00 聞き取り、アンケート等					
お礼まいり	センター中央 1月4日 御用始め当日			7:00~ センター集会	8:10~ デモ出発 8:15~ 朝食	9:00 大阪府・市 バスにて 出発



午後

13:00	15:00	18:00~	19:00	19:45~	21:45~	23:00~
			前半			
			犬パト			
					片付け	
準備		夕食配食		片付け		
片付け						
		焚き火				
			上映会		(未定)	
		焚き火			片付け	
23日公園設営						
三角公園						
焚き火の管理						
1月5日、6日 医療センター前片付け						
12:30 昼食後 解散						

# 釜ヶ崎講座のお知らせ

## 第 43 回釜ヶ崎越冬闘争に参加しよう！

みなさん、釜ヶ崎講座です。今、第 43 回越冬闘争は、東北大震災とそれによって引き起こされた原発被害、多くの人々が仕事と生活を失うなかでの開催です。

生活の復興に立ち向かう東北各県の仲間、原発をやめさすために立ち上がった福島を中心とする全国の仲間、そしてこの釜ヶ崎において仕事・生活・平和を求めてがんばっている仲間と強く連帯して、釜ヶ崎講座は今回も微力ですが行動します。

### 越冬での釜ヶ崎講座のとりくみ

#### 1. 越冬のたたかい・とりくみに合流・参加（12月30日）

ふとんしいき・人民パト・医療パトまで参加します。

■集合場所 釜ヶ崎日雇労働組合事務所集合

■集合時間 12月30日 17:30

#### 2. 新春恒例の釜ヶ崎ツアー（1月3日）

釜ヶ崎の歴史・たたかい・文化など、今回も案内人の水野阿修羅さんに連れられて、釜ヶ崎を深く知っていくフィールドワークをやります。

■集合場所 釜ヶ崎日雇労働組合事務所集合

■集合時間 1月3日 13:00

みなさんのご参加を待っております。

詳細、その他ご連絡は、以下までお願いします。

釜ヶ崎講座 090-2063-7704（事務局：河村）

---

# 釜ヶ崎越冬闘争への協力のおねがいです

## 2012年冬 第43回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会

長く熱い今年の夏も10月半ばには足早に消え去り、早、凍える冬も目前となりました。また今年も越冬闘争の時期を迎えることとなりました。

今年の釜ヶ崎は、昨年の橋下新市長、府 - 市を貫く『維新体制』誕生の下で、「大阪グレートリセット」という一大財政改革が進められ、「西成特区構想」という、どこからやって来るのかまるで分らないまぼろしの大風に翻弄され、右往左往した一年でした。

生活保護受給者の増大に対して、増大の本当の原因には触れずに、保護費全体の削減を目的とした、マスコミによる「不正受給」キャンペーンが張られ、生保受給のハードル引き上げや支給額の切り下げが、目論まれています。身元確認の強化、申請と同時の就労指導を含む全受給者に就労指導がはじまっています。

橋下大阪市政は、生活保護受給者への過重診療、過重投薬による医療費増大の削減を「病院指定制度」「薬局指定制度」の導入によって実現しようと実施を開始しました。過重診療、過重投薬の原因である医師、病院を規制するのではなく、患者の自由に受診する権利を奪う形で、立場の弱い保護受給者に不利益を押し付けています。

ハローワーク(民間労働市場)しか出口のない就労指導の強化は、民間労働市場から排除されてきた者たちにとっては高いハードルとなり、大きなプレッシャーとなっています。やがてそれは、不正受給者を減らす効果をもたらすのではなく、多くの生活困窮者の野宿生活への転落を招き、かつてきた道を逆戻りするだけではと危惧します。この就労指導は、すべての受給者に広げられ、医者でもないケースワーカーが、就労不可という診断のある受給者にまで「リハビリのために数時間だけでも働きなさい」などとむちゃくちゃな「指導」をしたりするほどの勢いで進められています。

こうした不正受給キャンペーンは、生活保護者=怠け者、社会悪という意識を植え付け、『自己責任論』で自分たちを正当化します。それは、社会の中に生保受給者や、野宿をせざるを得ない人たちを嫌悪し、攻撃するひとつとを作り出します。『自己責任論』が大手をふるって登場し始めると野宿者への実際の襲撃も増え、わけても若者に反映します。

この10月13日～14日未明にかけてJR大阪駅周辺で、40～80代の野宿生活の男性5人が、相次いで襲われ、顔を踏みつけるように蹴り続けられるなどし、富松国春さん(67)が外傷性くも膜下出血で亡くなり、他の人たちもケガを負わされました。

今年も、私たちは越冬闘争で野宿をせざるを得ないなかまたちを餓死・凍死から守り、襲撃から守り、日雇・下層労働者の結束を固めて、西成特区構想で揺れ動くなかまたち未来を切り開いてゆく闘いを行いたいと思います。

今年で43回目を迎える釜ヶ崎越冬闘争は全国の心ある皆様のご支援で支えられてきました。今年の越冬闘争も、連日の炊き出し、夜回り、行政への要望行動などおこないます。今年も、米、調味料、毛布、防寒着などの物資のご支援とともに、資金カンパのご協力をお願いします。

また、2012年12月28日から2013年1月7日までの越冬期間中の現場でのご支援もよろしくお願いたします。

# 釜ヶ崎越冬闘争への資金・物資協力のお願い

## ■ 資金で協力

越冬闘争では、毎年70万～80万円の資金が必要となります。現在も、越冬実行委員会では、資金集めに奔走しております。厳しさを増すこの経済状況にあって、心苦しい限りではありますが、釜ヶ崎の運動・取り組みに関心を寄せる多くのみなさまに、資金協力をお願いしたく思います。

### 【振込先】

① みずほ銀行 難波支店 普通口座 1387094  
釜ヶ崎実行委員会 代表 山田 実

② ゆうちょ銀行 記号141 番号33722521

### 【他金融機関から振り込みの場合】

③ ゆうちょ銀行 店番418 普通預金3372252

④ 郵便振替口座 00960-4-108331

※②③④は、名義：釜ヶ崎実行委員会

**期間中、三角公園にカンパ箱を置いています！  
ご協力よろしくお願いたします！！**

## ■ 物資で協力

越冬闘争では、次のような物資が必要です。みなさまのご協力をお願いいたします。

- 毎日の炊き出しに使う、米、もち米、調味料、野菜、その他の食料
- 寝場所、医療パトロールで使う、布団（敷布団、掛布団）、毛布類、寝袋
- 寒さをしのぐための衣類（成人男性用で、防寒着、カイロなど）
- その他、石鹸、タオルなどの日常生活用品

### 【物資の送付先】

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋1-9-7

第43回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会（代表 山田 実）

電話：06-6632-4273

## ■ ボランティアで協力

越冬闘争を手伝っていただける方は、各活動の集合場所に直接集まるか、下記までご連絡ください。

第43回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会

電話06-6632-4273

携帯080-5305-6996（担当 山中）

釜ヶ崎越冬闘争は、個人有志の参加による越冬闘争実行委員と、次の諸団体のご協力により行われています。

NPO法人釜ヶ崎支援機構、釜ヶ崎キリスト教協友会、釜ヶ崎日雇労働者組合、野宿者ネットワーク、わてらと釜ヶ崎、NPO法人釜ヶ崎医療連絡会議、釜ヶ崎講座、NDS、連帯委員会、学生企画ネットワーク、NPO法人コッポルム